

小中一貫校の取り組み「憧れ・憧れられる」存在へ

小中一貫校の目標は、9年間の義務教育を一つのまとまりとしてとらえ、子どもたちを育てていくことです。今年度は芳野小中学校としてさらに連動して教育活動が行えるように取り組んでいます。

今号では7月から10月にかけて行われた、小中学生がともに活動した記録をご紹介します。

小学2年生と中学3年生でコスモスの種まき

総合的な学習の時間に、中学3年生は芳野中学校の北側の空き地に「コスモス園」を造ることになりました。そのことを受けて、7月19日に小学2年生と一緒に種まきをすることになりました。豪雨や台風に見舞われましたが、子どもたちの懸命な取り組みのおかげで無事満開となりました。



中学生による先輩先生(算数)

7月19日・20日に、中学1・2年生が芳野小学校を訪れて小学3・4年生に算数を教える、「先輩先生」の取り組みを行いました。普段から仲良く接している子どもたちの様子が垣間見え、芳野の良さを改めて感じました。



学習文化発表会

10月9日に学習文化発表会が行われました。小学1～4年生はリモートで、小学5・6年生は現地で参観しました。中学生の発表や制作物に感銘を受け、将来に思いを馳せる子どもたちが印象的でした。

